10/2 ヨハネによる福音書第12章　　　　　　　　 担当 福島

*＊12章までのStory（前回までのあらすじ）*

*マリア・マルタ姉妹の兄弟であるラザロが没した。イエスは洞穴の中のラザロを復活させた。ラザロは見事に復活した。この奇跡行為によって多くのユダヤ人はイエスを信じたが、その一方で祭司長/パリサイ派に目をつけられ、イエスは指名手配されるようになった。*

【1-11】ベタニアで香油を注がれる

<語句解説>

**ベタニア**・・エルサレム近郊の地名で、マリア・マルタ・ラザロ兄弟の住んでいた土地

**ナルドの香油１リトラ**・・インド原産のオミナエシ科植物ナルドスタキス・ジャタマンシーという植物の根から抽出した香料をオリーブ油でのばしたもの。ナルドの香油1リトラは労働者1年分の賃金に相当するほど非常に高価なものであったらしい。

*Q.7-8節でイエスは何を意図しているのか？*

【12-19】エルサレムに迎えられる

<語句解説>

**ホサナ**・・ヘブライ語で、救い給え、の意。「ホザンナ」「ホザナ」とも。

神を賛える言葉として、典礼の中で歌われる。

*参照*：詩篇118 ; 25-26

ゼカリア書 9 ; 9

【20-36】ギリシア人、イエスに会いに来る

*Q.24-26節の意味とは？*

【37-50】イエスを信じない者たちに向けられたイエスによる言葉の裁き

<語句解説>

**イザヤ**・・旧約聖書に登場する預言者

*Q.38-40節は何が言いたいのか？*

*参照*：イザヤ書　6章